

(別紙5)

整理番号 2024P-192
補助事業名 2024年度 公益事業振興（検診車機器載せ替え）補助事業
補助事業者名 （一財）下越総合健康開発センター

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

当健康開発センターは新発田市、阿賀野市、胎内市、聖籠町はもとより、新潟県下越地域住民の健康増進と疾病予防、地域保健医療並びに福祉活動の中核施設として、保健福祉の充実と活力ある地域社会作りに寄与することを目的として設立された公益法人であり、その活動範囲である新潟県下越地域は広範囲にわたり、健康診断実施施設も少ないことから出張健診の要望が多い。地域の自治体及び事業所の需要を満たし、当地域住民検診、職域健診における胃がん、その他消化器疾患の早期発見のために使用する胃がん検診車の経年劣化に伴う更新には多額の費用が発生する。検診車の整備は費用負担が多いため、補助事業により整備を行い、胃がん、その他の消化器疾患の早期発見を図り、地域住民ならびに職域で働く方々の健康維持の増進に寄与することを目的とする。

(2) 実施内容

胃部X線デジタル機器載せ替え <https://www.kenkokaihatu.or.jp/204/>

【車輛外観】



【搭載機器】



公益財団法人JKAの競輪公益資金による2024年度検診車機器載せ替えの補助事業で、稼働から年数が経過した胃部X線デジタル検診車の搭載機器の載せ替えを行った。搭載した機器は、最新のデジタルX線システム（フラットパネル方式）であり、X線被曝線量の低減と併せて歪みやムラが少ない高品質なデジタル画像の収集が可能となり、検診車内においても安全性に配慮した設計となっている。最新鋭な検診車の整備により、検査効率、検診精度の向上につなげながら、下越地区住民の胃がん検診及び職域検診において、がんの早期発見は基より健康の保持増進に寄与できるよう、健診サービス提供に努めていく。

2 予想される事業実施効果

2024年度検診車機器載せ替えの補助事業によって、最新のデジタルX線システムや発電機、空調を整備することで故障の可能性が低くなり、精度の高い、安定した胃がん検診及び職域健診の実施が可能となる。地域住民胃がん検診において受診者の高齢化が進んでおり、遠方の施設での胃がん検診から居住地区で検診車両により実施される巡回による胃がん検診の受診者の増加が期待される。また職域健診においても、検診車両で職場にて受診できるため利便性が向上し、受診者の増加が期待される。

3 補助事業に係る成果物

本事業に係わる印刷物等

- ・機関紙「健康かいはつ vol.96」

(一般財団法人 下越総合健康開発センター 発行)

※令和7年6月1日発刊予定

<http://www.kenkokaihatu.or.jp/file/pdf/senter/kikanshi/vol96.pdf>

(別紙5)

・機関紙「新発田北蒲原医師会報 令和7年5月号(第722号)」

(一般社団法人 新発田北蒲原医師会 発刊)

※令和7年5月9日発刊予定

(同医師会のホームページには会報の掲載はありません)

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名 : 一般財団法人 下越総合健康開発センター

(イッパ^ンザ^イダンホク^{ジン} カイツウ^ゴウケンコウ^{カイ}ハツセンター)

住 所 : 〒957-8577

新潟県新発田市本町4-16-83

代 表 者 : 代表理事 佐々木 亮 (ササキ マコト)

担 当 部 署 : 放射線課 (ホウシャセンカ)

担 当 者 名 : 課長補佐 原田 大輔 (ハラダ ダイスケ)

電 話 番 号 : 0254-24-1145

F A X : 0254-22-0492

E - m a i l : radio@kenkokaihatu.or.jp

U R L : <http://www.kenkokaihatu.or.jp>